

令和元年度社会教育施設アクションプラン(重点施策別評価)

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る

◎市民と共に歩み、市民と共につくる図書館運営をすすめ、市民要望に的確に対応して市民満足度の向上を図る

1 社会教育環境の整備													
重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	平成30年度 事業実績	令和元年度 事業目標(数 値目標)	令和元年度 事業実績	達成率	自己評価			外部評価		
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び課題	
1-1 図書館資料の充実	予算の適正な執行により、資料の刷新を図り、市民満足度を高める。資料蔵書数の増進、年間貸出点数90万点達成を目指す	1	蔵書資料点数の充実	資料蔵書数	574,964点	576,000点	578,430点	100.60%	5	概ね順調に充実は図れたため	現状を維持していく	5.0	予算執行の成否はみえても、かけた努力の成果はここではみえない。 現状維持を望みます。
		2	貸出点数の増加	貸出点数	855,095点	856,000点	794,285点	92.79%	5	概ね順調に貸出点数が増えているため ※3月14日以降、休館していた分を加味	現状を維持していく	4.8	台風など気象現象にも左右されることなので、多少の増減は仕方ないと思います。
		3	子どもの読書推進のための児童書や、調べ学習に役立つ児童向け図書を購入	年間購入数	2,833点	2,635点	2,804点	106.41%	5	概ね順調に購入による受入れができたため	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)
		4	郷土資料・行政資料の充実を図る	年間収集数	700点	500点	498点	99.60%	5	概ね順調に購入及び寄贈による受入れができたため	現状を維持していく	5.0	「郷土資料」の定義意味づけが不明瞭な点、地元地域資料と郷土資料との違いあり。
		5	市民ニーズに応えて、健康・福祉・経済に関する図書や文学(小説)、大人向け紙芝居など一般向け図書を購入	年間購入数	7,435点	6,790点	6,062点	89.28%	5	幅広いジャンルで購入し、受入れができたため	現状を維持していく	3.8	別冊、紙製、能力開発、児童等の仕事等のため、図書館から必要な情報や知識を得たいというニーズが高まりつつある。こうした利用者に対応するため図書館資料の充実提供や適切なソフトウェアサービスの実現など期待したい。 市民ニーズは多様なので、今後も幅広いジャンルでの蔵書を望みます。
		6	各種調査研究のための参考図書を購入	年間購入数	296点	175点	281点	160.57%	5	毎月、毎年発行されている資料は、購入により受入れができたため	現状を維持していく	5.0	市民のかなり広い活動が見られる。歴史研究や様々な研究活動が存在している。それらの方々への対応があるような高品質な資料の提供や充実が望まれる。図書館の窓口相談の力量を向上したい。
		7	視力の弱い方や高齢者の読書推進のための大活字本を購入	年間購入数	111点	110点	81点	73.64%	4	概ね出版されているものは全て購入できたが、出版自体が少ないため目標値には届かなかったため	現状を維持していく	3.9	出版されているものは全て購入していることなので、評価をもう少し上げてほしいと思う。 拡大読書器など適切な整備が期待される。老人福祉等関係機関・団体との連携を図りながら、図書館利用の補助・宅配サービス等、きめ細かいサービスの実現を望む。 特殊本で出版予想が不からず、数値目標を立てるのが難しい。 対象の図書全て購入できたことは評価できる。
		8	企業スポンサーによる雑誌寄贈の受入れ	年間寄贈雑誌種数	21種	21種	18種	85.71%	5	休刊となった雑誌が出てきてしまったが、昨年度受け入れていた企業から継続して雑誌を受け入れることができたため	休刊となった雑誌の代わりに他の雑誌を入れていただければありがたい。また、現在スポンサーとつながっていない企業にも働きかけていきたい	5.0	(意見はありませんでした)
9	在住外国人の生活支援のための外国語資料の収集	総蔵書数	2,016点	2,020点	1,719点	85.10%	5	経年変化により多く読破したため目標値を下回ったが、点数は少ないが購入できたため	現状を維持していく	5.0	他の委員の方から意見が出た在住外国人の方に読書購入履歴の必要書類のマニュアルなどがあると、とても良いと思うが、これは図書館というより市役所のそれぞれの部署が担い、実現していくことが必要だと思う。他の部署にも市民からの意見として伝えてほしい。 今後もう少しずつ点数を増やしていって欲しい。		

令和元年度社会教育施設アクションプラン(重点施策別評価)

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る  
◎市民と共に歩み、市民と共に育つ図書館運営をすすめ、市民基盤的に定着して市民満足度の向上を図る

1 社会教育環境の整備														
重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	平成30年度 事業実績	令和元年度 事業目標(数 値目標)	令和元年度 事業実績	達成率	自己評価			外部評価			
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び課題		
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	レファレンスサービスの充実のため、職員研修への積極的な参加を促す	1	人事異動等により可資資格職員数を増やす	可資職員数	35人	36人	36人	100.00%	5	本館は異動により可資資格者が1名減ったが、その後1名可資資格を取得した。 人事異動により4月時点で減少したが、夏期研修で取得者があり、年末同様13名であり可資率65%をキープできた(西武分館) 可資職員数は新規に有資格者を採用した(金子分館) 可資職員は昨年同様に可資率50%を維持しているが、増員には至らなかった(諏訪分館)	現状を維持していく	5.0	本を採り時、図書館の方にお話しするよすぐ出てくるので、素晴らしいと思う。 可資資格職員が適量に増えている。 図書館サービスの新たな展開を実現する研修会に積極的に参加し、研修を兼ねていただければと思う。 有資格者が増えてとても良い、利用者の要望に的確に対応して欲しい。	
		2	レファレンスサービス向上のため、県、地区等の研修会に参加	参加回数	1回	1回	1回	100.00%	5	県の研修に参加し、県内の図書館職員とともに課題に取り組み、レファレンスに関する知識を得ることができたため	図書館協力レファレンス検定研修などを取組んで県内の取組と協力し、レファレンスサービスの向上に努める	5.0	利用者ニーズに対して図書館サービスの更なる高度化を図るため、図書館の研修はもとより、県や関係団体の実施する研修会に積極的に参加し、研修を重ねていただければと思う。 県や他図書館の情報交流を今後も行ってほしい。	
		3	市内全域、全年齢層の市民に対して、公平・平等な図書館サービスを提供し、またそのサービスの充実にも努める	高齢者、障害者の読書推進のため、録音資料を作成	録音資料作成点数	4点	3点	4点	133.33%	5	利用者との電話でのコミュニケーションを重ね、全国の図書館等に所属の無い録音設備も4点作成し提供することができたため また、依頼時期についても適正で、時間的猶予をもって執行できたため	DASY化が難しい資料の作成を依頼するため、ボランティアグループに負担をかけてしまったので、依頼資料に合わせて、対応期限を定めることも検討する	5.0	時間的に余裕があったにしても素晴らしい。 大変な作業だと思ふ。
	図書館ボランティアの育成に努め、その活動の場を確保し、活動を支援する	4	ボランティアの活動の場である「おはなし会」を全館で開催	おはなし会回数	367回	350回	329回	94.00%	5	2/25～3/31のおはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全館中止したが、2月までは、予定通り開催できた(本館) ボランティア団体と協力して順調に運営し、今年度から毎週水曜日と土曜日の開催開始を10.30とした。 近隣のあんず幼稚園、香保保育園の来館が増えたが、新型コロナウイルス対策に伴いイベント中止や臨時休館により、実施回数は目標回数より少なくなった(西武分館) おはなし会回数はほぼ前年度並みだったが、子育て支援サークル(あいきり、まふさサークル、大きな輪)に加え、高齢者向けサークル(オレンジクラブ、推進り健康つむぎサークル)へも読み聞かせ支援ができた。 ただし、新型コロナウイルス対策に伴いイベント中止や臨時休館により、実施回数は目標回数より少なくなった(金子分館) おはなし会は、4月から赤ちゃんタイムの実施を始め、また1月のおはなし作業会も好評で引き続き多くの参加者を集めている。 ただし、新型コロナウイルス対策に伴いイベント中止や臨時休館により、実施回数は目標回数より少なくなった(諏訪分館)	おはなし会は、公民館利用サークル等への読み聞かせ支援を拡大しながら分館内のおはなし会の運営を図ることにより、幼児の参加は増えましたが、小学生の参加が大幅に減少しているこのため小学生の参加拡大を目標とし、今度より取り入れたことのない語り(英語)を取り入れて内容を充実。幼児向けには絵本の読み聞かせだけでなく、手袋人形など小道具を利用した動きのあるおはなし会もできる(金子分館)	今後は、回数だけでなく、より多くの子どもたちに参加してもらえるよう努力したい(本館)	4.8	小学生の参加を呼び戻すには、やはり小学生向けの冊子を取ることも必要だと思ふ。そして、この冊子を呼び戻すことなら一言伝えたら効果も上がるとも思う。おはなし会の中に語りを取り入れるには大変だ。そして、読む人を探やすことも必要。 全館、職員の方々、ボランティア共に頑張っていると思ふ。新型コロナウイルスによるおはなし会が中止になったのは残念です。今後も必要です。 サービスの公平性を考えても図書館のい地域を考慮すべき。公民館活動との調整も検討する必要があると思ふ。 小学生になると土日はスポーツなどの暇をしている場合が多く、遊ばないため読書は難しいと思ふ。
		5	利用促進のため「おたのしみ会」を開催	おたのしみ会回数	7回	6回	8回	133.33%	5	「冬のおたのしみ会」を1回実施できたため(本館) 4月の「子ども読書の日」関連で春のお楽しみ会を開催した(西武分館) おたのしみ会は、夏冬合計で過去最高の参加者数となったため(金子分館)	産業文化センター改修のため第1集読会(和国)で行うため、音読(読書の深業)を取り入れることができなかった。 来年度は改善したい(本館)	5.0	(意見はありません)	
		6	研修会(ボランティア研修会)の実施	研修会開催回数	1回	1回	0回	0.00%	1	予算が確保できず、具体的な予定も立っていないため	引き続き、予算確保に努めたい	5.0	読み聞かせボランティア側からすると、研修会がボランティア仲間を増やすとても良い機会となっている。これからは読書ボランティア等も必要となってくるので、やはり研修会を開く。図書館活動に参加していただくのが良い方法だと思ふ。予算が問題ならば、職員の方が講師になって小さな研修会でもいいのではないかと。 ボランティア研修会の必要を感じます。今後も予算確保をお願い致します。 利用者に対する新たな図書館サービスを開発していくために必要な知識・技術を習得するボランティアの参加を促進するよう努める。そのために希望者の活動の場等に関する情報提供(ボランティア養成の研修の実施など、諸条件の整備など)に努める。 予算確保をして是非実行してほしい。 研修会(ボランティア研修会)の実施を是非行っていただきたいと思ふ。 ボランティアの方々も高齢化や人材確保に努めているので、毎1回でも研修会を行えば良いと思ふ。	
	利用促進につながる各種事業を実施し、分館においては長期的ノウハウを活用する	7	子どもたちを対象とした「フタバ一日図書館員」を実施(本館)	参加者数	94人	96人	92人	95.83%	5	募集人数98人のところ、定員一杯の申し込みがあったため(当日欠席があったため)、人数は92人	現状を維持していく	5.0	子どもたちの反応を喚起する魅力的な取り組みである。	
		8	利用促進事業として「人形劇」を開催	参加者数	42人	80人	0人	0.00%	1	会場の産業文化センターが改修工事で使用できなかったなどの理由で、実施できなかったため	実施していく	1.0	場所の確保は難しい問題だと思ふ。本館の図書館の利用促進とことから、近い場所ではやはり意味が薄いかと思ふ。早くできるようになると思います。 西武分館の視聴覚室を使用したらよい。 改修工事などは定期的に行われるもので、仕方ない。	
		9	子ども読書推進のため「読書ラリー」を実施	修了者数	330人	300人	283人	94.33%	5	昨年より修了者が増えたため(西武分館) 何度も参加した児童もいたが、参加者数は昨年の半分強にとどまった(諏訪分館)	実施していく	4.6	興味を引くような呼びかけができた。 毎週のように図書館を利用していますが、我が子は一度もオースさんを見たことがありません。そういうお子さんは他にも多いのではないかと考えます。	
		10	利用促進のため文学講演会を開催	参加者数	94人	100人	-	-	-	-	3/15実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。 (なお、申込者は100名に達していた)	実施していく	-	目的が余りにも短期的だと思ふ。「文学」と限定する理由が理解できない。

令和元年度社会教育施設アクションプラン(重点施策別評価)

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る  
◎市民と共に歩み、市民と共に作る図書館運営をすすめる、市民要望的確に答えて市民満足度の向上を図る

1 社会教育環境の整備												
重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	平成30年度 事業実績	令和元年度 事業目標(数 値目標)	令和元年度 事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び課題
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	利用促進につながる各種事業を実施し、分館においては長期間のノウハウを活用する	11 利用促進のため分館3館で自主事業を開催	実施事業数	47事業	40事業	41事業	102.50%	5	継続事業に加え、はじめて実施した西武客席は、近隣市出身の落語家を招き、事前申込み一週間で満員に達し、参加者アンケートでは次年度の実施を希望する意見があり好評だったため(西武分館) 新規自主事業として「樹木匠が語る金子分館周りの自然」「埼玉の水産林を分館から学ぼう」「登山道のルーツを探る」「楽しく学ぶ数学」「ブックトークコンサート」「一般向け映画会」を実施できたため(金子分館)	現状を維持していく	5.0	各館、特色のある工夫された自主事業を続けていくことを、これからも続けていってほしい。 市民の自主的・自発的な学習活動を奨励するため、講演会・朗読会・映画会・読書会・資料展示会を主催し、市民ニーズに応えている。市民の満足度も高い。 各館で新しい事業に取り組み中。 幅広いテーマでそれぞれの図書館で特長のあるイベントなどを企画していると思う。
		12 本館、西武分館、藤沢分館の夜間(17時～20時)入館者数平均	夜間入館者数	423人	400人	413人	103.25%	5	3/14～3/31は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全館臨時休館だったが、目標値をクリアし夜間入館者数の増加が認められたため	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)
		13 本館開館夜間開放事業(20:00～21:30)による利用促進に努め、本館の開館夜間開放事業を継続する	利用席数	16席	16席	12席	66.67%	3	3/14～3/31は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全館臨時休館の影響あると思いがおそれながらも少ない結果となった。 一定数の利用者がいるものの、一日平均で6席減少しているため	本館閲覧室は自習の利用者が中心で、図書資料の閲覧が多くないものと見受けられる	3.2	(意見はありませんでした)
	地域情報の収集、提供の他、ホームページによる図書館情報の迅速かつ正確な提供を行う	14 入館者数の増	年間入館者数	703,586人	700,000人	645,891人	92.27%	5	全館減少傾向があるため	利用促進事業や図書館PRの充実により、現状の入館者の維持を図る	4.8	施策の是非とは全く関係ないところで数字だ。図書館のあり方を根本的に、 今後は年々減少傾向になっていくことは避けられないと思う。それでも来館者数を増やすイベントや取り組みを積極的にやっていくことが求められると思う。
		15 視聴覚ライブラリーの活用	視聴覚ライブラリーを 活用し映画会を開催	年間上映回数	24回	27回	21回	77.78%	4	機材の不具合も無く、順調に上映できたため ただし、新型コロナウイルス対策に伴うイベント中止や観客数減少により、要請回数は目標回数より少なくなった(西武分館)	現状を維持していく	4.1
	各種メディアや広報紙等を活用し、図書館情報の発信を推進する	16 図書館ホームページのメンテナンス実施回数	メンテナンス実施回数	10回	12回	12回	100.00%	5	実施が遅れたことはあったが、毎月1回システム更新による各ページのメンテナンスを行い、情報の刷新を促したため	必要に応じて、チェック項目の更新を図る	4.9	ホームページが使えないという時がないのは素晴らしい。
		17 パスワード登録者数	新規パスワード登録者数	4,764人	3,000人	3,710人	123.67%	5	目標値に達したため	パスワードを登録するメリットともに、図書館ホームページや館内OPACから手軽に登録できることをPRしていく	5.0	(意見はありませんでした)
	分館の指定管理者による効果的な管理運営とサービスの向上を監督する	18 「広報いるま」の毎月1日号に図書館関連記事掲載	年間掲載月数	12回	12回	12回	100.00%	5	計画通りに毎月記事を掲載することができたため	引き続き広報の配布日程を考慮し、予定しているイベントやお知らせが全て載せられるように調整していきたい	4.8	「広報いるま」は見ている人も多いと思うので、毎月掲載してほしい。
		19 「広報いるま」に図書館関連の特集記事を年1回以上掲載	年間掲載回数	1回	1回	1回	100.00%	5	特集記事で、図書館のさまざまなサービスについて紹介ができたため	今回は広報いるまの担当で特集記事の内容を求めたが、今後、担当以外にもアイデアを聞くようにしたい	5.0	(意見はありませんでした)
		20 図書館だよりの発行	年間発行回数	4回	4回	4回	100.00%	5	計画通りに発行できたため 読者アンケート、若くは入った法律事務所サービス等について、読者に伝わりやすいレイアウトを工夫したため	全館分の事業案内の校正に時間がかかるが、余裕をもって取り組み、記事の内容をより充実させていきたい	5.0	内容が充実している。 図書館だよりの発行は回数にこだわらず、現在の定額化によって保つてほしい。 楽しみにしている人も多いと思う。小学校への配布も続けてほしい。
		21 金子分館だよりの発行	年間発行回数	12回	12回	12回	100.00%	5	金子分館だよりは、毎年金子小学校図書委員おすめ本を紹介し、金子小学校や学童・保育所向けには「わくわく分館だより」を発行している。発行に際して各区分、自治会へ郵送された地区の掲示版に自主事業のポスター掲載も実施し、金子地区へさらに幅広く情報発信できたため(金子分館)	現状を維持していく	4.9	素晴らしい取り組みだと思う。 地域の事情に即した広報の工夫。一般的な方法では不可能だと思う。
		22 コミュニティFM放送に出演	年間出演回数	50回	50回	50回	100.00%	5	予定通り出演しているため	現状を維持していく	5.0	コミュニティFMに出演している事を広げてもらうための町なかのアピールがあっても良いと思う。
	図書館運営を自己評価し、図書館協議会での外部評価を受けた後、市民に公表する	23 CATVでの図書館情報と資料を紹介	年間出演回数	12回	12回	12回	100.00%	5	予定通り、5回出演できたため(本館) 取材・出演が前年度に続いて2回だったため(西武分館) 取材・出演が昨年より1回増えたため(金子分館) 取材・出演が1回だったため(藤沢分館)	予定通りお知らせはできたので、今後とも出演回数の確保に努めたい(本館) 入館CATVに取り上げていただける回数を増やせるよう、PRなどを工夫していく(藤沢分館)	4.8	(意見はありませんでした)
		24 指定管理者の実地調査(モニタリング)を実施	実施回数	2回	2回	2回	100.00%	5	予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	予定通り行えたことは評価できる。
25 指定管理者の人員費や労働条件等の確認		実施回数	3回	3回	3回	100.00%	5	予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	予定通り行えたことは評価できる。	
26 図書館運営の自己評価及び図書館協議会による外部評価を公表	評価と公表の実施	1回	1回	1回	100.00%	5	予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	予定通り行えたことは評価できる。		

令和元年度社会教育施設アクションプラン(重点施策別評価)

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る

◎市民と共に歩み、市民と共につくる図書館運営をすすめ、市民主体的に促して市民満足度の向上を図る

2 家庭・地域の教育力の向上

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	平成30年度 事業実績	令和元年度 事業目標(数 値目標)	令和元年度 事業実績	達成率	自己評価		外部評価			
								事業評価 点数	事業評価の主な理由 課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び課題		
2-1 家庭・地域の教育力の向上	学校図書館や学校図書館ボランティアと連携協力し、子どもたちの学習活動及び読書活動を支援する	1 図書館見学(小学校3年生を市内全校で実施)	参加校数	15校	16校	15校	93.75%	5	希望のあった学校には、全て対応できた(本館) 計画通り実施できた(西武分館) 図書館見学は、金子小学校3年生に加えて、新小生も参加するようにできた(金子分館)	参加校に対しては、今年度から貸出を希望する生徒は事前にやまばと号や図書館利用者カードを作成してもらおうとしたところ、生徒本人がないと利用者カードの作成ができないことを知らず、保護者の方のみが実施になることもあったため、学校と連携してカード作成について周知していきたい(本館)	5.0	大変有意義な事業である。今後も継続してほしい。 狭山小の不参加について、本館の要因を考えた。 是非継続してほしい。「プーア図書館員」にもつながる可能性大。 希望のなかった学校についても他校と差が出ないように今後実施できるようにしてほしい。	
		2 図書館利用教室(小学校2年生を市内全校で実施)	参加校数	15校	16校	16校	100.00%	5	希望のあった学校には、全て対応できた(本館) 計画通り実施できた(西武分館) 4校300人以上の児童に実施し、来館する児童から紹介した本の問合せが多数ある等反響も多かった(西武分館)	利用教室は全校実施できたが、見学については都合により、実施しづらい学校が1校あった	5.0	大変有意義な事業である。今後も継続してほしい。 大人向けの利用教室も数回あったら良いと思います。	
		3 学校図書館ボランティア育成のための研修会を開催	参加者数	48人	50人	63人	126.00%	5	「読み聞かせについて」と本の修理について2回実施し、参加人数が目標を超えたため	中学校の学校図書館ボランティアは参加が少ないので、今後も呼びかけに努めたい	4.9	各学校には図書館ボランティアの方がいて、子どもたちに本を届けようという熱意に活動している。この人たちが図書館員ともなるように、本を選び、基本的な読み聞かせの仕方など、もっと伝えられる。具体的には各学校のボランティア代表者に連絡簿を渡し、ブックリストを届けると、学期末又は季節毎におすすめの本や図書館の行事案内を送る。ボランティア一人ひとりに働きかけ、「どんぐりの新刊紹介の冊子」もお知らせすると良いのではないだろうか。 学校教育においても読書活動が振興されていることから、よみかせボランティアを養成、それを通して読み聞かせを行うことにより図書館への関心を高め、図書館の利用促進を図る。 今後の開催は半年に1回など定期的に行っていくて欲しい。	
		4 移動図書館車の学校への定期的な巡回を実施	巡回学校数	8校	8校	8校	100.00%	5	移動図書館車の学校巡回に当たっては、例年どおり実施できた	移動図書館車の配車時間が合わないことから余り利用されない学校がある。毎年、配車時間を一部調整したい	5.0	「やまばと号」をよみかしている児童が多い。今後も継続してほしい。	
		5 配本サービスを実施	箇所数	33箇所	39箇所	39箇所	100.00%	5	定期利用・不定期利用合わせて39箇所を予定していたが、配本を行い、目標を達成したため	徐々に周知され、利用団体も増加しているが、貸出しが滞りなく行えるよう、目標を達成したため	5.0	金子分館の配本サービスを利用したことで、学級文庫が充実した。 このサービスを知らない団体が多いため、積極的に知らせたい。どのように市民や関係者へ知らせたいのかは課題。	
	市民生活の中での読書活動の重要性を伝える事業や親子の読書活動のきっかけづくりなどによる事業を市内各課と協力して実施する	6 ブックスタート事業実施に向けて庁内連絡会議を開催	会議開催実績	0回	1回	0回	0.00%	1	予算が確保できず、具体的な担当課や会議の予定も立っていないため	引き続き、予算確保に努めたい	1.0	庁内会議でも予算がないと聞けないので、引き続き、予算確保に努めたい	
		7 全庁的な子育て支援策の一つとしてブックスタート推進事業を実施	年間実施回数	12回	12回	10回	75.00%	4	ブックスタートは毎回2名で対応し、自主事業への反響も多かったため、新型コロナウイルス対策に伴ってイベント中止や臨時休館により、実施回数は目標回数より少なかった(金子分館)	新型コロナウイルス感染症対策の関係で中心を移す。2月28日に実施予定であった分を中止しているが、それ以外は計画通りに実施できた(本館) 計画通り実施できたため、ただし、新型コロナウイルス対策に伴ってイベント中止や臨時休館により、実施回数は目標回数より少なかった(西武分館) また、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の関係で中止になったが、今後も状況を踏まえて適切に実施できるように努めたい	目標回数は12回だが、これはBOGの接種回数である。この機会を利用して行っているため、内容は、沢山の赤ちゃんや保護者と一緒に、これ以上増やすことは不可能であるため、現状を維持していきたい	3.8	BOG接種時の実施だと、あまり聞いていない状況があるということなので、別の機会を設けて実施できるとよい。 乳幼児と保護者が集まる場での読み聞かせ、ブックスタートの配布、希望する保護者は子どもの発達段階に応じた推薦図書や案内、図書館ならではの子育て支援のフォロー。 図書館の人から親身した意見がほしい。BOGの申し込みがまだありません。他の機関と連携して、良い方法が見つかりますように。 目標回数12回はBOGの接種回数のことですが、子どもが生まれるからよみかすは、パパやママの準備でいうよりも一歩ではないでしょうか。 BOG接種の時に本当に良いかは検討していきたい
		8 庁内関係課との連携事業を実施	事業実施数	9事業	9事業	8事業	88.89%	5	3「アンピル」にそだてひろばまつり(二本公館主催)が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。8事業となったが、他の事業は予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	他の社会教育施設(公民館等)、学校、児童館等と連携するなど、多様な学習機会の提供に努め、学習活動の場、資料の提供などに努めていただければと思う。	
		9 「おとなのための読書会」を開催(西武分館 共催:小園の会)	年間実施回数	1回	1回	1回	100.00%	5	計画通り実施できた(西武分館)	「おとなのための読書会」の参加者が減少した(西武分館)	5.0	(意見はありませんでした)	
		10 「古典読書会」を開催(西武分館 共催:古典の会)	年間実施回数	12回	12回	11回	91.67%	5	新型コロナウイルス対策に伴ってイベント中止や臨時休館により、予定の回数には1回回らなかった。読書会参加者だけでなく、一緒に声をかけるボランティアも呼ぶことができ、参加者も増加したため(西武分館)	現状を維持していく	4.8	小さな会に参加者は減り又は減少傾向。また、大人に対しての事業が少ない中で実施していることにも意味があるのかと思う。	
		11 「公民館との共催事業」を実施	実施事業数	5事業	6事業	5事業	83.33%	5	公民館との共催事業は、子ども映画会に後援。学習などの団体参加があり、事前に一般向け読書会を実施できた(金子分館) 例年行っている「サマーズ教室」は今年度も多くの参加者があり、「こわいおはなし会」には、隔年開催で初めて実施された「アリス」を参加いただくことが出来た。また、映画会については、一般向けは目的の大人の読書会「テーマ付」が好評だったが、子ども向けは台風接近のため中止等があり一度も実施できなかった(西武分館)	映画会等共催事業の会場確保の手順について公民館と協議し、より良い時期に企画の決定が出来るよう努める(西武分館)	4.8	高校生の運営ボランティアは大きな成長だと思う。この子たちをもっと増やしていくことが事業を活性化させることになる。 地域の状況もあるが、地域の文化向上を支援する取組みであり、図書館からの声かけなどの文化向上への働きかけが必要であると思う。それと同時に、公民館活動との連携が望ましいと思う。高齢化する公民館の「ホール」活動の推進活動の取組に良い役割を担えるようにしてほしい。	

